

原発問題を考える

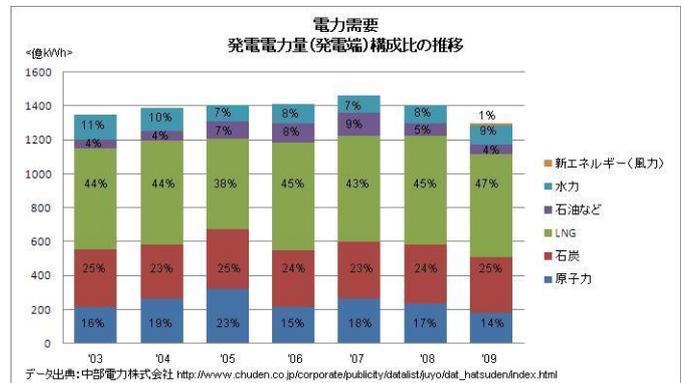
2011年5月17日
NO. 2
JR 総連組織部

原発を止めて電気は足りるのか？

この春、計画停電により多くの地域で大変な苦勞がありました。本当に原発を止めて大丈夫なのでしょうか？

浜岡原発の場合、中部電力の全発電量の2割以下で、影響がないということがいわれています。また、東京電力では、2003年に、原発の検査数値偽装問題の結果、すべての原発を停止しましたが、停電は起こりませんでした。

一方、今回の震災の場合、原発だけでなく、火力発電所などその他の発電所の被災も多く、同じようなことが起これば足りなくなるという見方もあります。まして、全国すべてとなれば影響は計り知れません。

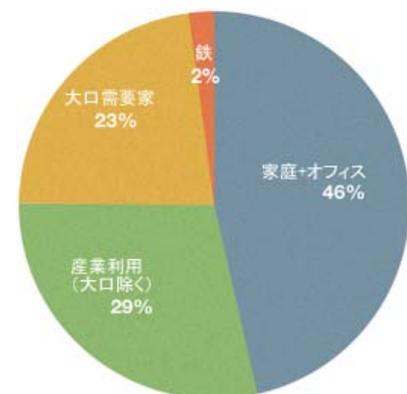


足る足りないの議論では意味がない！

そもそも、本当の発電量も使用量も私たちには知る術がありません。また、使用量がどんどん増えれば必ず足りなくなります。

いま、私たちに必要なことは、電気の使用量を減らし、原発そのものを不必要な物とすることです。そのためにはライフスタイルの変更も必要になり、不便もあるかもしれません。しかし、原発事故による絶望的な生活の破壊の現実を見れば、他の選択肢はないはずで

もちろん、節電は個人だけではなく、社会全体で担わなければなりません。例えば、1970年代のオイルショックの時には、民放も含めて昼間にも放送休止を行っていました。今、節電を呼びかけるマスコミ、企業は何をやっているのでしょうか？エアコンを止めるだけでは単に利用者、労働者に対する転嫁でしかありません。



東京電力の需要割合